

# CCH<sup>®</sup> TeamMate

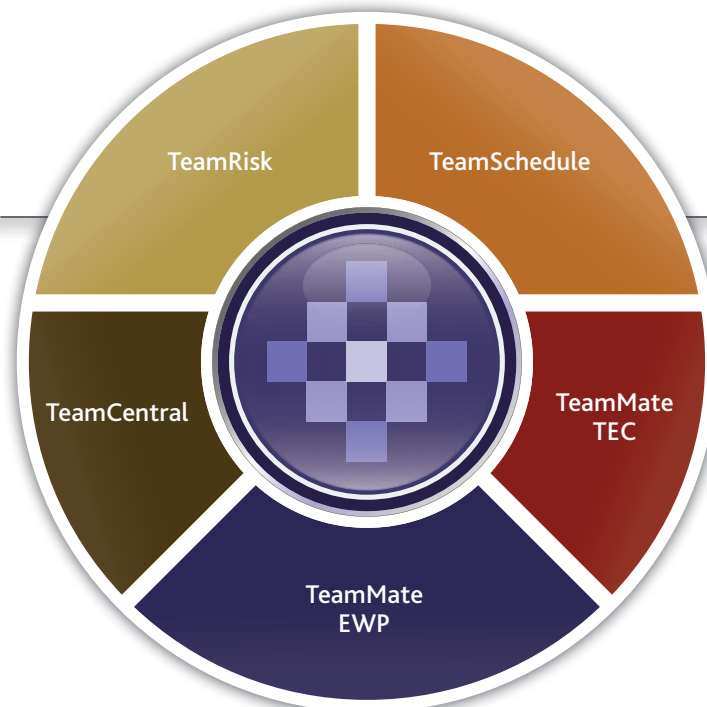
Audit Management System





## もくじ

■ Overview .....	2-3
■ TeamRisk .....	4-5
■ TeamSchedule .....	6-7
■ TeamMate TEC .....	8-9
■ TeamMate EWP.....	10-11
■ TeamCentral.....	12-13
■ Templates and TeamStores.....	14-15
■ TeamAdmin.....	16
■ System Requirements .....	17



# CCH® TeamMate

付加価値のある監査のためのソリューション

監査のプロセスを改革する選ばれた監査管理システム

## 作業時間削減を実現しながら価値を高める

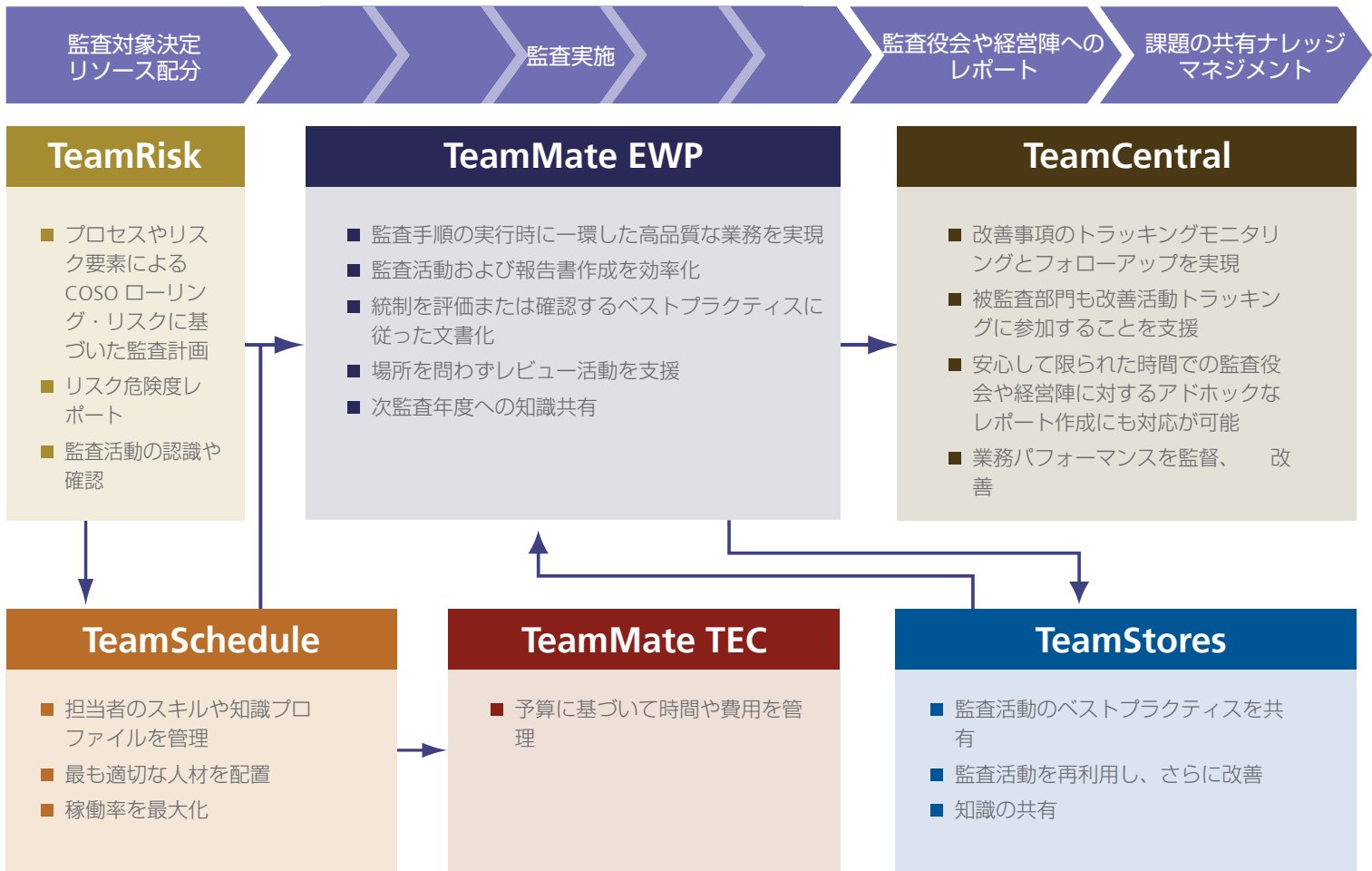
ある調査によると、内部監査人の業務のうち40%以上が文書作成と監査調査のレビュー、報告書の作成に費やされているそうです。

TeamMateは価値の向上いつながらない作業にかかる時間を削減し、あらゆるレベルの内部監査人が、より付加価値の高い業務に集中できるような環境づくりのために設計されています。TeamMateのユーザーに対する調査では、利用してから1年目で、平均して20-25%生産性が向上したという結果が出ています。

このシステムだけで完結するソリューションとして、TeamMateはほぼ全てのシステム環境で稼働し、それぞれの企業および組織の監査方法に柔軟に適應できます。

CCH TeamMateは多くの内部監査人に利用されている標準システムです。TeamMateは高品質の監査の基盤となり、監査調査作成プロセスを標準化します。また、内部監査人の知識を向上させる効果もあり、監査報告書の改善し、経営層へ重要な情報提供を提供します。

TeamMateは全ての業種におけるあらゆる監査で利用できるように設計されており、監査部門の規模の大小に関わらず、監査プロセスの各段階において効率性と生産性を向上させるために利用されています。リスク評価、スケジュール管理、費用と時間の管理、監査計画、監査の実施、レビューや承認プロセス管理、報告書生成、傾向分析、監査委員会への報告や文書管理に対応しています。



## TeamMate の導入について

TeamMate は気軽に導入することが可能です。Microsoft Word や Excel を利用した監査作業と比較すると、文書作成はもちろん、パワフルなデータベースエンジン、最新技術のスキャン技術に対応した文書システムといった機能がワークフロー機能とともに完成度の高い監査管理システムとして構成されているため、すぐに利用できる点が違います。

新システムが入るからといって今までの方法を 100% 捨てることはありません。TeamMate には既存の計画用文書、リスク評価、戦略計画、個別監査業務をプログラムの書き直し無しに取り込むことができます。TeamMate EWP のテンプレート機能を利用すれば、あらたな個別監査業務手続、ベストプラクティスとなった監査手続、監査チームのメンバーの詳細、予備監査のためのチェックリストや報告書、各種レポートのテンプレートがクリックしていだけで作成、再利用できるようになります。

もちろん、TeamMate を適切に導入するための導入支援サービスもご用意いたしております。

## TeamMate サポート

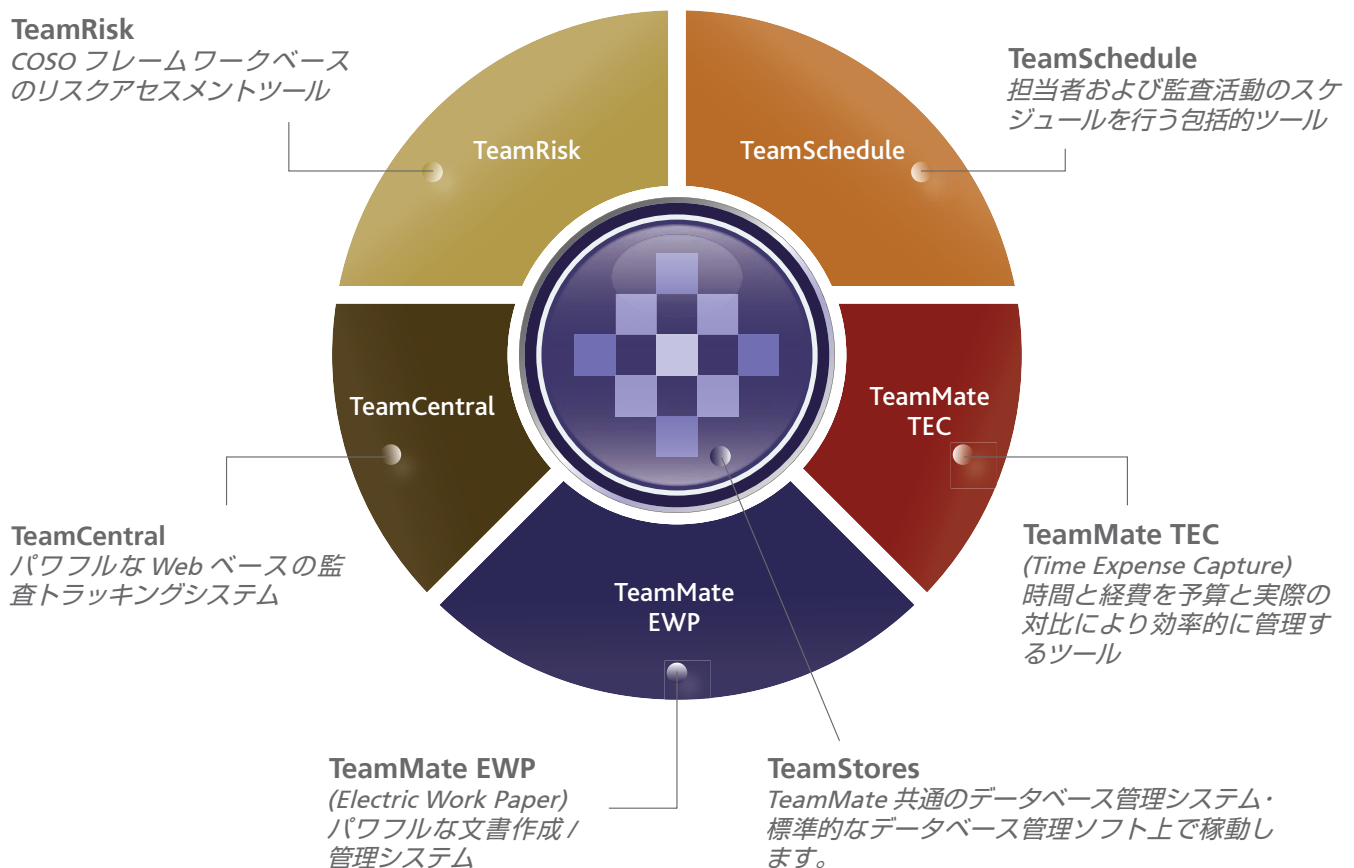
オンラインヘルプのシステムに加えて、わかりやすい日本語ユーザーガイドをご用意しています。製品サポートは、お客様のあらゆるお問合せに対応すべく必要に応じて四大洲をカバーする世界中のサポートデスクがご支援する体制をとっております。

また、TeamMate のユーザーコミュニティ専用ホームページにバーチャル会議室が設定されており、世界中のユーザーと TeamMate の開発チームやサポート担当者が一緒になって情報交換を行っています。このユーザー専用ホームページでは、製品バージョンアップ、ご利用方法ヒントコーナー、よくあるご質問への回答集やわかりやすいサポートガイドもご用意しております。

## CCH® TeamMate

監 査 管 理 シ ス テ ム

CCH TeamMate Suite は統合された5つの基本コンポーネントと監査データ管理システムで構成されています。ライセンス料金には全てのコンポーネントが含まれており、購入後、追加オプション料金は生じません。



# CCH<sup>®</sup> TeamMate—TeamRisk

## 監査のためのリスク評価

監査計画を生成し、企業や組織のリスクをビジュアルに表示できる  
COSO 対応のリスク評価ツール

### リスクベースの監査へ

TeamRisk は、貴社で現在採用されているリスク評価手法を用いて、リスク評価を実施・報告できる強力なツールです。リスク評価をいかに設計し、実施し、報告するかを決めるのは貴社です。

TeamRisk は下記の監査標準に対応することで、さらに監査担当者を支援しています。

- 内部監査人協会：“内部監査の専門職的实施の基準”
- バーゼル銀行監督委員会：“銀行の内部監査および監督当局と監査人の関係”
- COSO レポート：“内部統制—統合的枠組み”
- キングの企業行動規範 2002
- ターンブル委員会

### 監査との統合と自動化

TeamMate の他のモジュールと統合することによって監査業務の一本化に貢献できます。

- リスク評価から個別監査業務が生成され、TeamMate EWP で監査調書作成作業に引き継がれます。
- リスク評価から生成された個別監査業務は TeamSchedule でのスケジュール化に引き継がれます。
- TeamRisk からこれまでの TeamSchedule と TeamMate EWP で扱った個別監査業務が参照できますので、リスク評価の担当者が、個別監査業務のレベル、プロジェクトサイクル期間、それまでのリスク評価スコア、最終的なリスク採点、前年度のリスク評価対象部門の担当者といった情報の確認が可能になります。これはリスク評価の対象となる組織全体をより良く把握することに役立ちます。

TeamRisk はデータ収集機能も備えています。自己評価 (CSA) 機能により、リスク評価担当者は対象部門の担当者、または内部評価の実施において内部監査部門に Web アンケートを送信することが可能です。

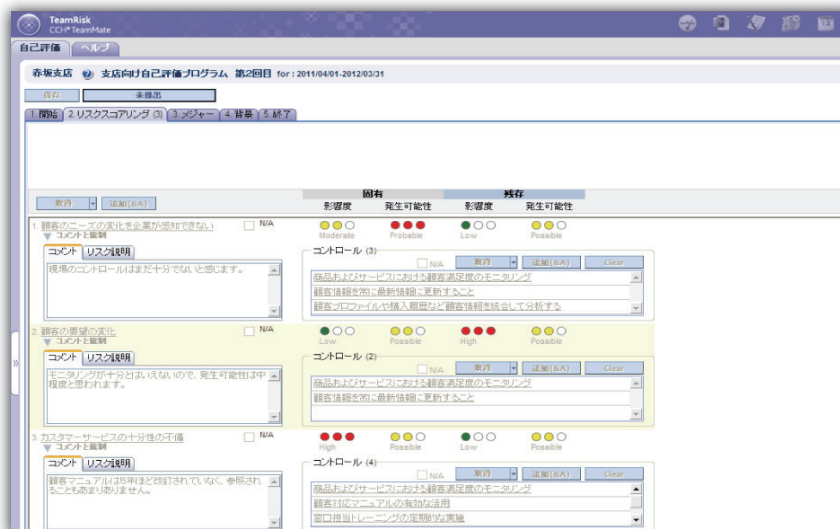
- 対象となるリスクの採点を行えます。
- カスタムメジャーを入力できます。カスタムメジャーとは監査対象に成り得る企業および組織の、各部門用に入力することができる数値です。これには、重要な財務諸表項目、業績指標などがあります。
- リスクの背景を Web アンケート上で表示できますが、テキスト、参考文書の添付も可能です。

Web アンケートによる自己評価の結果は各リスクが選択されている全てのリスク評価項目に表示される仕組みになっていますので、最終的にリスク評価担当者がリスクの採点をする際に、重要なデータとして活用できます。

### 有効なリスク評価を組み立てるために

リスク評価がそれぞれの企業及び組織のあり方を映し出すように、また、ビジネス目的、リスク、コントロールをリスクユニバーサルとして構成できるようにリスク評価を設計することで、リスクの採点をシンプルな方法へと改革できます。

- スコアリングのための方程式や結合方法をカスタマイズ設定できます。
- 例えば影響度と発生可能性など、採点基準は、貴社あるいは組織のリスクに対する考え方に合わせて選択することが可能です。
- コントロール前のリスク (固有) コントロール後のリスク (残存)、または両方のリスク要素を確認しながら結論づけることができるようになります。
- それぞれの事業体やビジネスプロセスに重要性を付加したい場合はカスタムメジャーを規定できます。



TeamRisk の自己評価機能では手軽な Web アンケートが簡単な操作で生成できます。

## リスク評価

TeamRisk のリスク評価の実施はシンプルです。

- 対象部門のカスタムメジャー値を入手します。
- ビジネス目的、リスク、コントロールをあらかじめ設定しておいたリスクライブラリーから選択します。
- リスクの採点を行う自己評価の担当者を確定して連絡します。また、それぞれのカスタムメジャーと背景を入力します。
- リスクと、その影響を受けるであろう組織にリンクさせ、固有、残存のいずれか、または両方のリスクを採点します。
- それぞれのリスクに基づいた評価にコメントを残します。
- 自己評価結果のデータを、リスク評価をより確実なものにするため、インポートします。
- 各評価に関連した文書を添付します。
- 企業および組織全体、もしくは特定の組織単位のビジネス目的やリスクをフィルタリングできます。

## 個別監査業務の立ち上げ

個別監査業務と監査調書を含む個別監査業務のためのプロジェクトファイルをリスク評価の情報に基づいて生成することができます。

TeamRisk で識別されたリスク情報が TeamMateEWP のリスク & コントロールビューワーに自動的に入力され、監査担当者が所定のリスクとコントロールに着目できるよう、ハイライトされるようになっていきます。

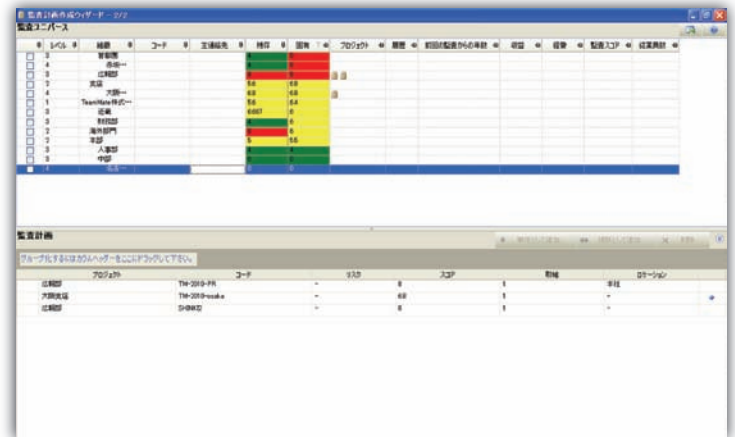
## ニーズに合わせたレポートを柔軟にカスタマイズできます

レポートテンプレートは貴社および組織の標準に合わせたレイアウトにカスタマイズすることも可能です。レポートは PDF、Excel、HTML、RTF といった形式に出力することもできます。

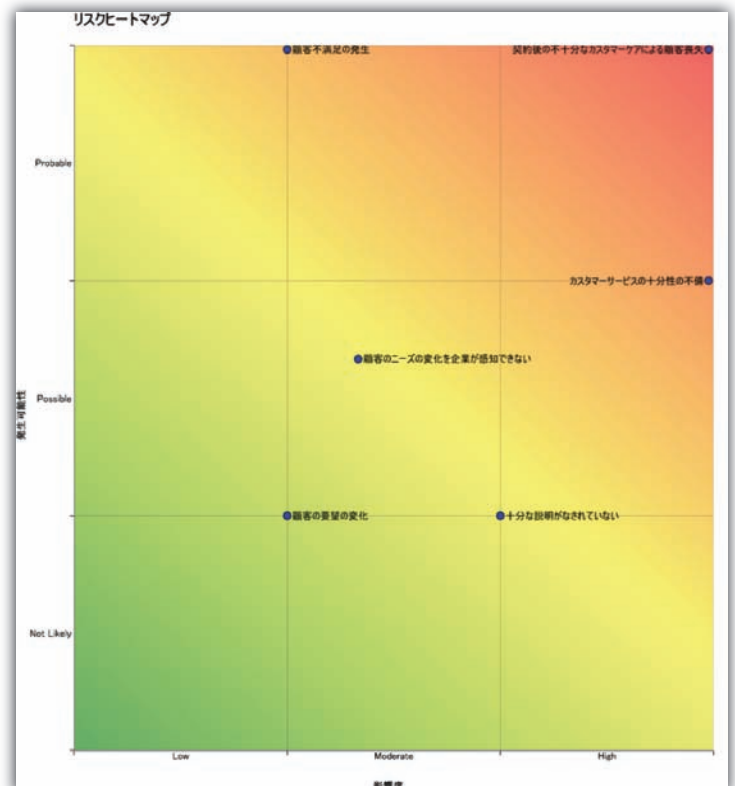
ヒートマップや監査ユニバースビューワーで監査の着目が必要なのはどこかを識別できます。また、年間監査計画をリスク評価に基づいてプロジェクトの詳細とスケジュールとともに生成することも可能です。

様々な範囲の記述式または表形式のレポートテンプレートが利用できます。

- リスク評価報告書 (Risk Assessment Detail Report)
- ヒートマップ (Audit Universe Heat Map Report)
- リスクマトリックス (Risk Matrix Report)
- リスクヒートマップ (Risk Category Heat Map Report)



監査人にとって使いやすい、豊富なグラフィック形式の選択ウィザードがガイドしますので、監査への関心を呼ぶ高リスクの組織や機能の識別ができるようになります。



監査ユニバースビューワーモードの TeamRisk のヒートマップは監査が必要な事業体やビジネスプロセスを識別することを支援します。

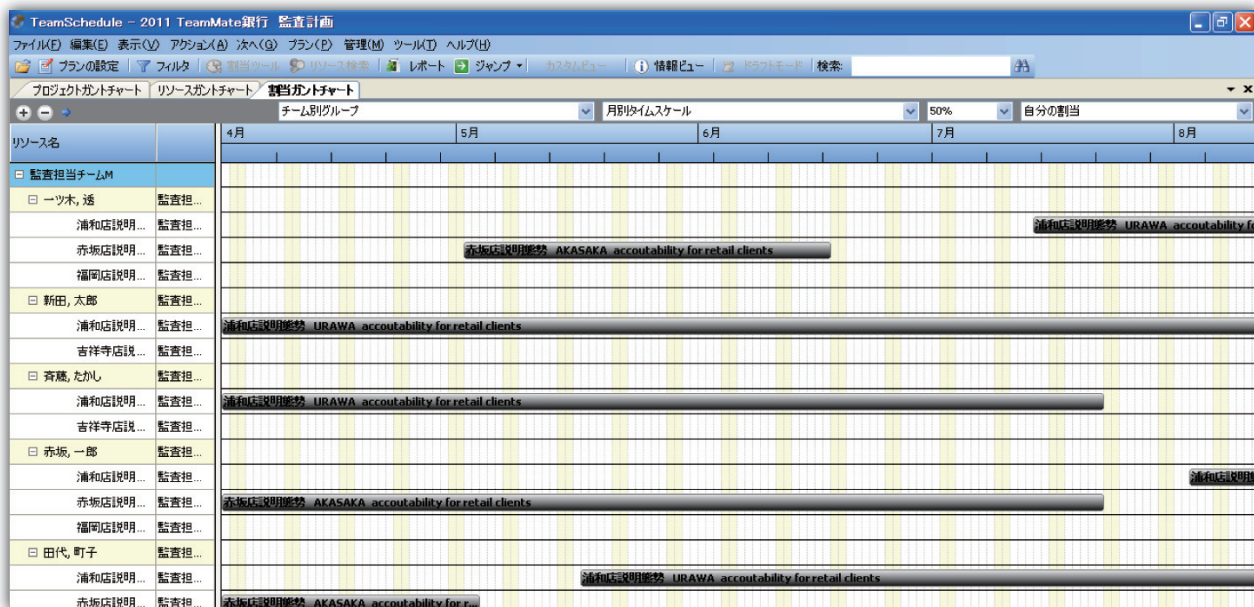
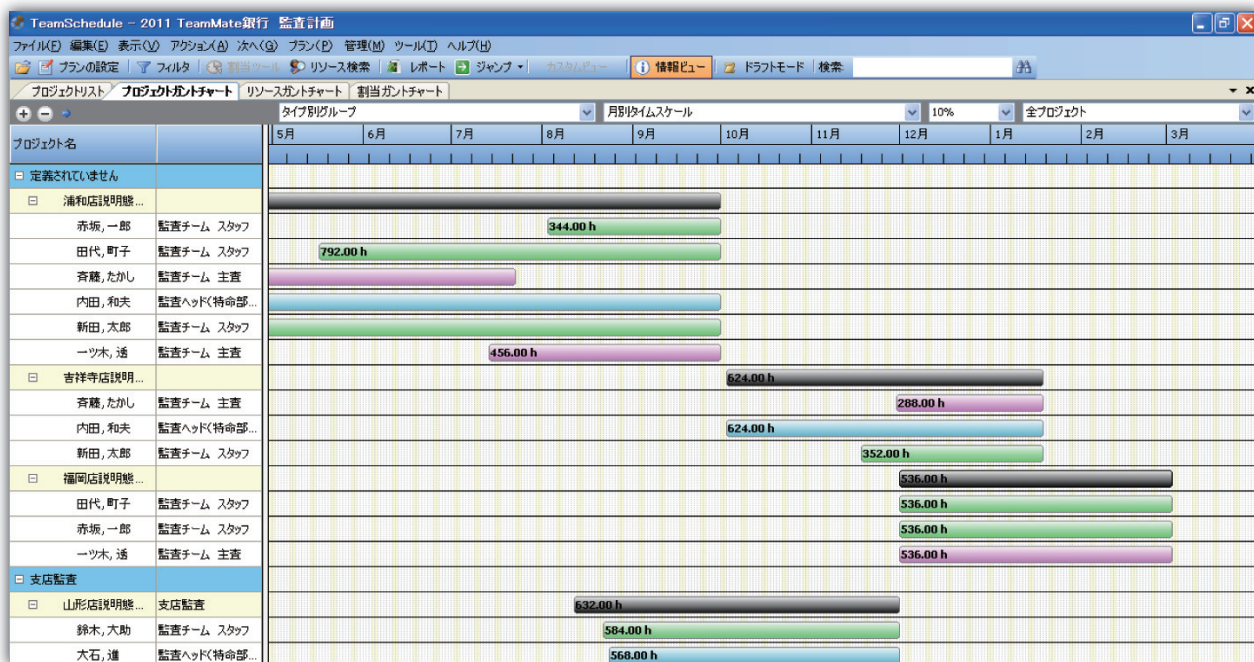
# CCH<sup>®</sup> TeamMate—TeamSchedule

## リソースとプロジェクトのスケジュール管理

貴社および組織の人材と個別監査業務をスケジュールするための総合ツールです。スケジュールを監査人別およびプロジェクト別、または割当状況別で表示することができます。

TeamSchedule は 年間監査計画において、人材の割当やプロジェクトのトラッキングをビジュアルに確認しながらリソースやプロジェクトのスケジュール管理ができるようになるツールです。

TeamSchedule は、グループ規模の大小に関わらず複数のスケジュール担当者が簡単に作業できるように、フレキシブルに設計されています。スケジュールやアサインメントはガントチャートで表示されます。



ビジュアルなプロジェクトや割当状況の表示

## 人材や個別監査業務を手軽にスケジュール管理

TeamSchedule のパワフルな機能をご紹介します。

- ユーザ基準（リスク、目標開始日、タイプ、ロケーション）に基づくプロジェクトのスケジュールリング
- 割当ツール - ガントチャート形式のビュー上でプロジェクトのスケジュールとリソース割当をインタラクティブなマウスのドラッグアンドドロップ操作で行うことができます。
- リソース検索 - スケジュール管理者がチームもしくは全監査人の中から、スキル、資格、言語、経験およびロケーションといった条件を使って、プロジェクトに見合った監査担当者を検索することができる高機能ツール
- What-if（もし、ここに割り当てればどうなる）形式で分析を行いながら割当予約をすすめることができます。

- プロジェクトの見積コスト（社内および社外）の追跡、モニタリング
- 担当者の競合を自動的に検出し、スケジュール管理者の競合特定と競合解決をサポート
- 監査計画の管理に必要な情報や特に重要な個別監査業務に注目しながらスケジュールリングできるようにビューがカスタマイズできます。
- 個々のスケジュール、監査担当者活動状況、監査担当者スキル、空き時間などの報告書を容易に作成可能
- TeamSchedule Web- 監査担当者にブラウザから閲覧できる簡潔なスケジュール表を提供し、監査担当者は自分のスケジュールを Microsoft Outlook カレンダーに取り込むが可能です。

リソース検索: DG 10-002 | 赤坂店説明態勢 AKASAKA accountability for retail clients

条件や資格・技能を選択し、このプロジェクトに最適なリソースを検索します。その中から割り当てるリソースを選択します。リソースをダブルクリックすると、同じ期間内の他の割当を見ることができます。

**検索条件:**

チーム: 監査担当チームM  
 グレード:   
 ロケーション:   
 開始日: 2011/04/01  
 終了日: 2011/06/29

**資格・技能:**

タイプ	値
経験	4-6 years
言語	Japanese
スキル	
経験	
資格	
言語	

一致する

%	利用済	リソース	一致する
67	+	一ツ木, 透	監査担当チームM, Japanese
67	+	赤坂, 一郎	監査担当チームM, Japanese
67	+	田代, 町子	監査担当チームM, Japanese
33	+	新田, 太郎	監査担当チームM
33	+	斎藤, たかし	監査担当チームM
33	+	内田, 和夫	監査担当チームM

自動フェーズ

配分% 100

割り当て 閉じる(C)

シンプルな手順で適切なチームの人材計画を支援するリソースファインダー

# CCH<sup>®</sup> TeamMate—TeamMate TEC

Time and expense capture

プロジェクト見積とタイムシート機能の統合によって、  
時間と費用に関する予実管理のためのツールです。

TeamMate TEC ではプロジェクトや非業務作業（休暇や研修等）の時間と経費の入力ができます。プロジェクトの進捗状況や関連する経費を視覚的に追跡することができ、プロジェクト要約報告書やリソース活用状況、全体的な予算管理などの文書を作成することができます。

## 無駄のないタイムシート処理

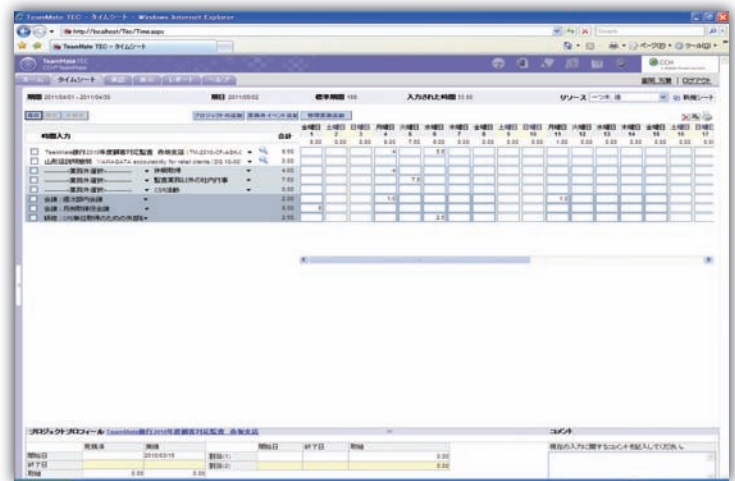
TeamMate TEC はウェブベースのアプリケーションで、データ入力作業を簡潔にし、どこからでもタイムシートを作成することができます。

- タイムシートの選択では、TeamSchedule のアサインメントから自動的にデータが投入され、タイムシートの完成に必要な労力を最小限にすることができます。
- 管理者は、時間をチャージできる日や、タイムシート上の合計時間の制限値などを設定することができます。
- 事務担当者に代理で時間を入力を依頼するようなご利用方法も可能です。
- 入力ミスに対しては、マイナスの時間を提出し直すことで修正することができます。
- タイムシートを承認する管理者をアサインすることができます。

## 経費の追跡

経費はプロジェクトや非業務作業毎に追跡できます。TEC は経費精算システムではなく、プロジェクトに掛った経費を迅速に追跡するものなので、詳細な経費情報の入力はありません。

- 追跡したい経費の分類を決めることができます。
- 計算機能によって、一回の入力で交通費のような全ての関連経費の合計額を入力することができます。
- 必要に応じて、予想外の経費や出張の延長などの付加情報を詳細に入力することもできます。



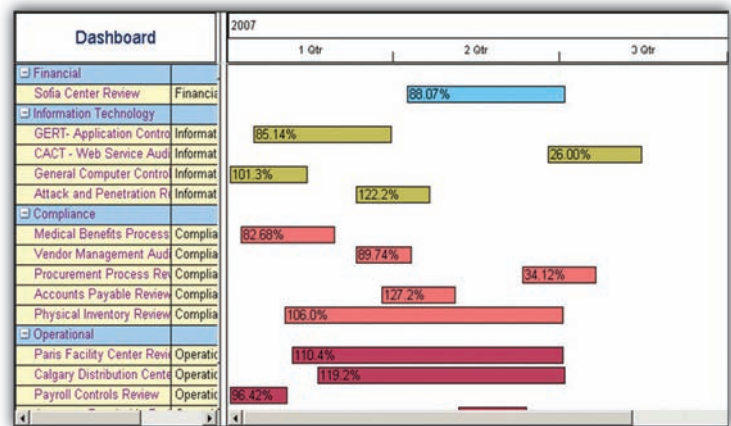
時間の入力には、直感的に使えるタイムシート式インターフェースを採用しています。

## 迅速に個別監査業務プロジェクトの状態を把握

貴社の年間監査計画やプロジェクトの状態を迅速に把握できる機能を紹介します。

- プロジェクトトラッキングー貴社のプロジェクトをプロジェクトタイプやロケーション別に分類することによって分析し、費やされた時間の詳細までドリルダウンし、スケジュール通りに行われているか、予定時間内に終了できるかどうか把握します。この機能は、プロジェクトのコストや期限を管理する立場にある人にとって、大きな助けとなります。
- トラッキングガントーひと目で、重要業務指標（KPI）が監査計画や現場往査、報告やまとめに費やされた時間に対して見合っているか判断できます。
- タイムダッシュボードーマネジャーは年間監査計画の全ての進捗状況を見ることができます。プロジェクト・リストを下にスクロールし、画面下のインフォメーション・ビューより、プロジェクトの開始日、終了日、時間数を確認することができます。

- タイムシートステータスマネジャーはタイムシートの状況をチェックして、報告対象期間のデータの完全性や正確性を確認できます。
- 報告書は簡単に作成できます。“リソース活用状況”など報告書の種類を選び、貴社の基準に合わせてデータをフィルターにかけます。フィルターの使用により、11種類の標準的な報告書が作成できるため、ほとんどの報告ニーズに対応することができます。



それぞれの個別監査業務プロジェクトの完了状態を表すパーセンテージをダッシュボードが視覚的に表示しています。

Project Type	Reporting Period	Remaining	Scheduled	Totals	Variance	Real Variance
Information Technology	22.50	0.00	224.00	22.50	201.50	201.50
Operational	3,167.75	907.00	6,281.00	3,167.75	3,113.25	2,206.25
Project Name	Reporting Period	Remaining	Scheduled	Totals	Variance	Real Variance
CORP-Ethic Guideline Audit	91.50	50.00	80.00	91.50	-11.50	-61.50
SPEC-Sales Support	141.00	0.00	264.00	141.00	123.00	123.00
SPEC-Boston, Massachusetts	142.00	400.00	544.00	142.00	402.00	2.00
SPEC-Tampa, Florida	150.50	0.00	360.00	150.50	209.50	209.50
INTL-UR-Distribution Center	108.00	0.00	782.00	108.00	674.00	674.00
SUP-Inventory	162.00	0.00	104.00	162.00	-58.00	-58.00
SUPMNC-Cincinnati, Ohio	474.50	0.00	694.00	474.50	219.50	219.50
SUPNE-Sales Support	306.50	0.00	576.00	306.50	269.50	269.50
SUPNE-Philadelphia, Pennsylvania	219.75	322.00	760.00	219.75	540.25	218.25
SUPSN-San Diego, California	175.00	0.00	202.00	175.00	27.00	27.00
CORP-Level	307.50	135.00	176.00	307.50	-131.50	-266.50
CORP-International	392.25	0.00	376.00	392.25	-16.25	-16.25
CORP-Benalla	118.25	0.00	272.00	118.25	153.75	153.75
INTL-CA-Distribution Centers	174.75	0.00	515.00	174.75	340.25	340.25
INTLAS-Marketing	20.00	0.00	280.00	20.00	260.00	260.00
INTL-UR-Customer Service	184.25	0.00	296.00	184.25	111.75	111.75
<b>Sub Total</b>	<b>3,167.75</b>	<b>907.00</b>	<b>6,281.00</b>	<b>3,167.75</b>	<b>3,113.25</b>	<b>2,206.25</b>

プロジェクトトラッキングビューは予定と実際に費やされた時間とを対比して確認できるように設計されています。

# CCH<sup>®</sup> TeamMate—TeamMate EWP

## 総合監査調書作成システム

文書作成、レビューワークフローに必要な作業時間を軽減し、監査業務の価値を高め、高度化するためのツールです。

TeamMate EWP は強力なデータベースアーキテクチャを提供します。必要な情報をすぐに探しだすことができるため、効率的な文書化作業やレビュー作業を可能にします。

監査手続、検出事項、コーチングノート、サインオフ、編集履歴などの重要な情報はデータベースに保存されます。TeamMate のようなデータベース主導型システムはリアルタイムで進められる、作業チームに即した利用が可能となり、重要な情報がフィルタリングやソーティングといった操作で確認することが可能です。このようなデータベース機能があるからこそ、TeamMate は単なる調書作成システム以上のシステムと言えるのです。

TeamMate なら担当別、リスク別といった要素やキーワードで重要なデータを簡単に醜彫り混むことも可能になります。

### 協働作業による効率性向上

TeamMate EWP 上で行う監査業務プログラムはオンライン上でも進行でき、レビューの効率を最大化するように開発されています。個々の監査手続ステップに個別の承認ができるため、ひとつの個別監査業務を担当することとなった複数の担当者がそれぞれのステップを担当して同時に作業を進めることが可能になります。

TeamMate EWP の持つ進捗が一目で分かるステータスフラグとデータ抽出機能により、レビュー担当者はレビュー可能な範囲を容易に把握、参照することができます。

TeamMate EWP はアクセス権限の設定機能を持ち、プロジェクト単位で各監査人に役割を設定することができます。例えば、監査調書内の自分が担当した部分に対しての自己レビューを禁止したり、調書を読取専用でしか開けないメンバーを設定することができます。

### 監査関連文書への簡単で確実なアクセスを実現

文書と文書を紐付ける機能をご用意しておりますので、監査手続と関連する検出事項は自動的に相互リンクが張られます。例えば、会社の方針に則していない発注書が見つかった時に、監査人はその発注書をスキャンもしくはドラッグアンドドロップ操作で TeamMate EWP に取り込むだけで、監査証拠が監査手続へ自動的に紐付けられます。

他にも、TeamMate EWP には以下のような相互参照機能があります。

- 監査調書からコーチングノートや検出事項への自動参照
- 全てのアプリケーションへのハイパーリンク
- ウェブサイトや ACL などのファイルへのハイパーリンク
- ブックマークの作成やリンク

### ペーパーレス化を推進する画像や PDF ファイルの取り込み機能

TeamMate EWP は、他のアプリケーションで作成された文書を取り込む機能が優れている点でも定評があります。監査の検出事項を監査手続の中に直接入力することもでき、また取り込んだ Word や Excel ファイルの中にも書き込むこともできます。TeamMate EWP に取り込まれた後は、Microsoft Office の機能を全て保持したまま、TeamMate EWP のツールバーを利用することで、他の文書への相互参照、注記、問題点や検出事項、コーチングノート、および文書へのサインオフなどを加えることも可能になります。

### レポート出力の省力化

TeamMate の 360° レポート機能によって、問題点や検出事項、作業進捗や時間のサマリなどを、任意のフォーマットにて Microsoft Word 形式で自動的に出力することができます。作成されたレポートはマネジメントなどの閲覧や変更の後、監査ファイルへインポートすることができます。

### 他にはないレベルでの Microsoft Office 製品との統合機能

TeamMate EWP は、他のアプリケーションで作成された文書を取り込む機能が優れている点でも定評があります。監査の検出事項を監査手続の中に直接入力することもでき、また取り込んだ Word や Excel ファイルの中に書き込むこともできます。TeamMate EWP に取り込まれた後は、Microsoft Office の機能を全て保持したまま、TeamMate EWP のツールバーを利用することで、他の文書への相互参照、注記、問題点や検出事項、コーチングノート、および文書へのサインオフなどを加えることも可能になり

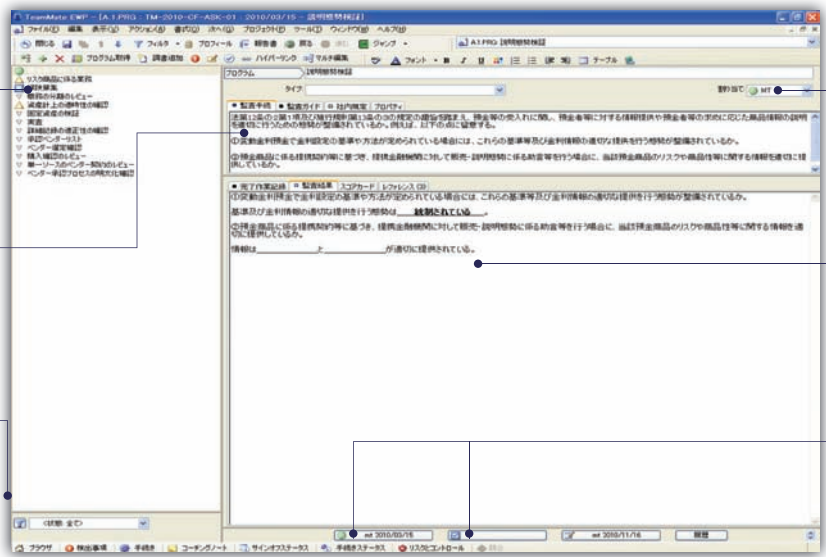
ます。

TeamMate EWP のプロジェクトファイルは全て自動的に暗号化され、圧縮されます。Microsoft Word、Excel、PowerPoint などの他社のソフトウェアで作成された添付文書についても同様です。従って、サーバー上、ローカル PC などの保存場所や E メール添付、WAN 経由などのデータ送信方法に関わらず、セキュリティが確保されます。

色分けされた状態アイコン  
色分けされた自動表示アイコンで監査手続の進捗状態を確認できます。

TeamStores から個別監査業務  
が取得できます。  
定型的または優良な個別監査業務は TeamStores に保存することができ、簡単に取得できます。取得すると自動的に監査手続が内容ごと表示されます。

絞込み機能  
個別の監査手続を必要に応じて絞込み、一覧することが可能です。共有フォルダーでの管理では実現できない、参照方法です。



割当フィールドが手続毎の担当者を表示しています。

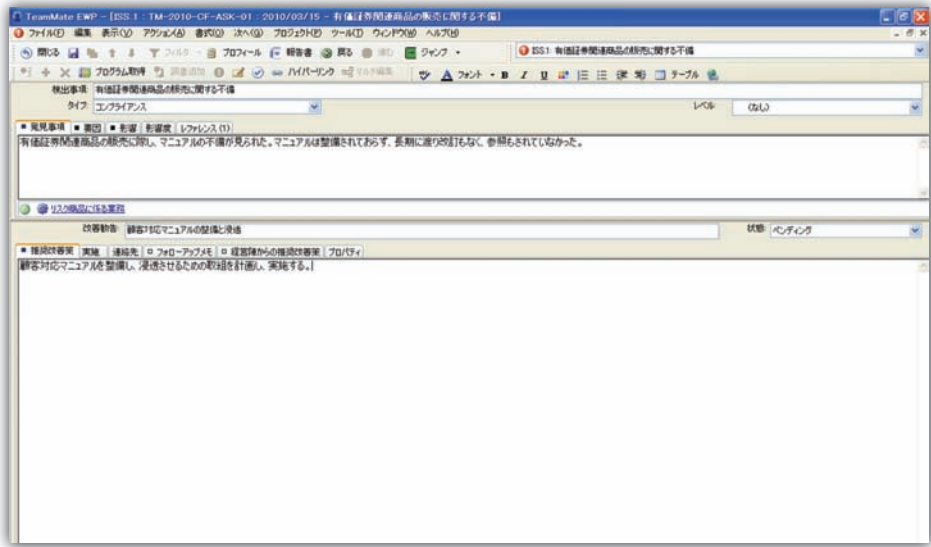
フィールドには、罫線、特殊フォーマット、チェックマーク、Web サイトや外部ファイルへのハイパーリンクなどを利用しながら入力できます。

サインオフとレビュー機能  
承認はボタンをクリック、履歴も残ります。

個別監査業務の手続画面に担当者、進捗状態、レビュー状況といった概要が表示されます。



TeamMate Auditor ツールセットは、発見事項の記入、相互参照の設定、コーチングノート（コメント機能）電子サインオフ機能、チェックマーク、といった機能の入り口となるツールバーです。



この画面から不備や発見事項を改善報告やアクションプランと関連付けて記入します。

# CCH<sup>®</sup> TeamMate—TeamCentral

## 個別監査業務と発見事項の追跡

発見事項と個別監査業務プロジェクトの重要な指標を追跡する強力なWebベースのツールです。

TeamCentral は TeamMate EWP のプロジェクトプロファイルや検出事項を蓄積し、グローバル監査および問題点の追跡を可能にするウェブベースのデータベースです。フォローアップの進捗状況を追跡することもできます。

### 簡単な操作で以下のことが実現できます。

- TeamMate EWP を使用せずに、監査結果をウェブブラウザから見るができます。(TeamMate EWP がインストールされている必要はありません。)
- 過年度や期中の監査データを、Web アプリケーションから簡単に検索ができます。
- 問題点のフォローアップ、トレンド分析、過去に実施した監査のレビューや監査委員会報告がシンプルな操作で容易に実現できます。
- 主要な関係者にアクセス権を付与することが可能です。経営者は詳細な結果を監査部門を呼び出していちいち確認することなく、全体的な監査結果をリアルタイムで閲覧することができます。
- 高度なセキュリティをベースにしたユーザ管理機能により、監査人や被監査部の担当者等個々のユーザー毎にアクセス可能なプロジェクトを設定することができます。
- 改善提案事項の担当者となった監査人は Web アプリケーションである TeamCentral にアクセスし、アクセス権のある被監査部門の担当者によって更新されている対応状況をリアルタイムで確認することができます。
- 被監査部門の担当者と担当監査人へ送信できる電子メール通知機能を活用することにより、継続的なコミュニケーションとワークフローの遂行、締切日を確実に管理できます。

実施された全てのプロジェクトの結果や検出事項の報告は、以下の TeamCentral の標準報告書を使用することによって簡単に行うことができます。

### プロジェクト報告書

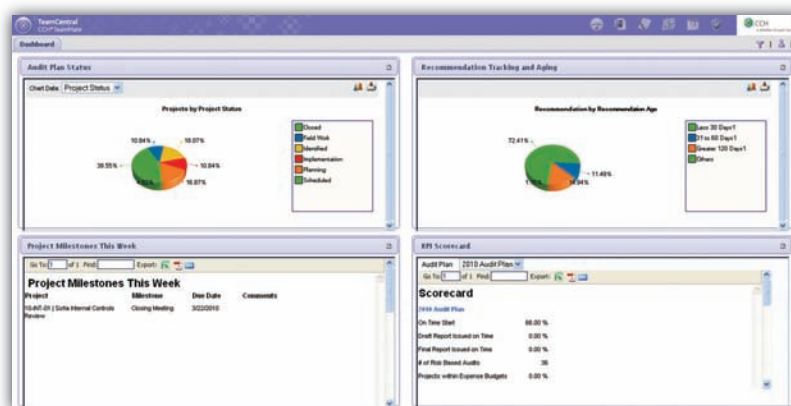
- 完了状況
- 担当者連絡先
- プロジェクト一覧リスト
- リスク分析レポート
- プロジェクト別時間と費用の分析レポート
- プロジェクト追跡レポート

### 発見事項レポート

- 完了した発見事項リスト
- 注目すべき発見事項リスト
- 発見事項の影響度分析
- 発見事項一覧リスト
- 推奨改善提案リスト
- 改善提案への取組状況の追跡レポート
- 改善事項の追跡と経過状況レポート

### 監査レポート

- 監査計画状況レポート
- TeamMate EWP サマリーレポート
- TeamStores 上の手続一覧



左記のような標準レポートの他にも TeamCentral レポートエンジンではカスタマイズレポートやクエリを設定することが可能です。

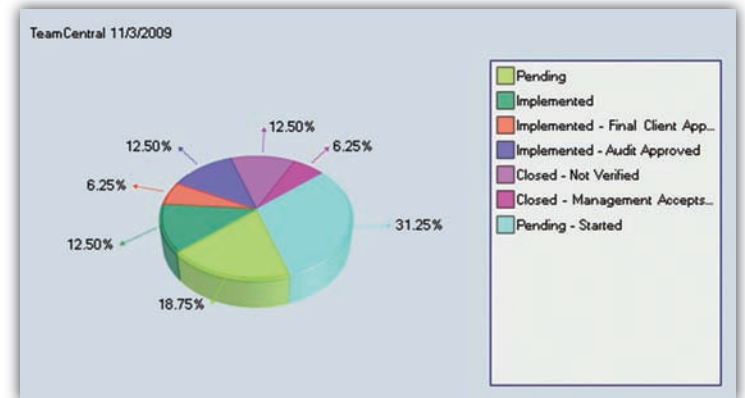
多彩な検索機能を駆使すればデータマイニング的にデータを俯瞰したり、個別監査業務プロジェクトのプロファイル内容や発見事項の要素を起点に検索できるクエリを「その場で」設定したりすることも可能です。

プロジェクトトラッキング機能は個別監査業務プロジェクトの最新の進捗状態をいつでもレポート出力して確認することが可能です。マイルストーンレポートは必要に応じてより監査業務のより詳細な進捗状態の確認に役立ちます。

ダッシュボードは監査人や監査部門長向けにハイレベルな視点を提供します。監査計画の状態、推奨改善勧告の経過、週別プロジェクトマイルストーンや KPI スコアカードなどのビューが参照できます。

プロジェクト	発見事項	改善勧告	Department	責任者	状態	発生日	終了日	実施日
20090101	Process for unapproved changes	Process and procedures should be	Finance	Jason Clarke	△	20090101	20100301	
20090101	Recognition of deferred tax	Recognition should be clearly for	Finance	Ryan Smith	△	20090101	20100301	
20090101	Final asset descriptions in aging	Final asset descriptions provided in	Finance	Steve Carter	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Physical inventory taken early with	Physical inventory taken early with	Finance	Steve Carter	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Bank date provision	Bank date provision should be	Finance	Ryan Smith	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Contingent liabilities for re-	Contingent liabilities should be	Human Resources	Jason Clark	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Ownership of revenue cards	Ownership of revenue cards should	Finance	Lawrence Pook	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Fee policy incorporated for business	Fee policy incorporated for business	Finance	Ryan Smith	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Customer requests not set for	Customer requests need to be	Finance	Debrah Heston	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Job-cost allocate not using	Job-cost allocate not using	Finance	Debrah Heston	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Rec'd input from agents not	Rec'd input from agents not	Finance	Doug Veen	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Opening and closing bank accounts	Opening and closing bank accounts	Finance	Kevin Chambers	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Contract accounts	Contract accounts should be	Finance	Kevin Chambers	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Time cards not submitted for sign-	Time cards not submitted for sign-	Human Resources	Doug Veen	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Medical benefit deduction	Medical benefit deduction should	Human Resources	John Lee	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Director benefits	Director benefits not included	Human Resources	John Lee	△	20090101	20100301	20100301

被監査部門の改善提案実施担当者は担当する発見事項にアクセスして進捗状況を更新することができます。通知機能によって対応期日を知らせる事も可能です。



知りたい情報の概要がグラフィカルな検索結果として表示されます。

プロジェクト	発見事項	改善勧告	Department	責任者	状態	発生日	終了日	実施日
20090101	Process for unapproved changes	Process and procedures should be	Finance	Jason Clarke	△	20090101	20100301	
20090101	Recognition of deferred tax	Recognition should be clearly for	Finance	Ryan Smith	△	20090101	20100301	
20090101	Final asset descriptions in aging	Final asset descriptions provided in	Finance	Steve Carter	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Physical inventory taken early with	Physical inventory taken early with	Finance	Steve Carter	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Bank date provision	Bank date provision should be	Finance	Ryan Smith	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Contingent liabilities for re-	Contingent liabilities should be	Human Resources	Jason Clark	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Ownership of revenue cards	Ownership of revenue cards should	Finance	Lawrence Pook	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Fee policy incorporated for business	Fee policy incorporated for business	Finance	Ryan Smith	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Customer requests not set for	Customer requests need to be	Finance	Debrah Heston	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Job-cost allocate not using	Job-cost allocate not using	Finance	Debrah Heston	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Rec'd input from agents not	Rec'd input from agents not	Finance	Doug Veen	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Opening and closing bank accounts	Opening and closing bank accounts	Finance	Kevin Chambers	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Contract accounts	Contract accounts should be	Finance	Kevin Chambers	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Time cards not submitted for sign-	Time cards not submitted for sign-	Human Resources	Doug Veen	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Medical benefit deduction	Medical benefit deduction should	Human Resources	John Lee	△	20090101	20100301	20100301
20090101	Director benefits	Director benefits not included	Human Resources	John Lee	△	20090101	20100301	20100301

経過レポートが改善勧告の推奨時期を過ぎた発見事項をわかりやすく色分けして提示します。

# CCH<sup>®</sup> TeamMate—Templates & TeamStores

## 知識共有とテンプレート化

「格納しやすく、取り出しやすい」監査人のリストからベストプラクティスの個別監査業務、調書や「よくある」発見事項を格納するツールです。

### 標準化の確保

TeamMate EWP では、ライブラリというユーザ独自のテンプレートを使用してプロジェクトファイルを作成します。ライブラリを使用することで、貴社の監査部門の標準的なファイル構成や用語を、全てのプロジェクトに適用することができます。

TeamStores に格納されたテンプレートを用いて新規に個別監査業務のプロジェクトファイルを作成すると、あらかじめ監査手順のステップの詳細、監査調書や検出事項の記述様式、およびチームメンバーや被監査部門の担当者の氏名と連絡先、そしてリスクとコントロールなどが入力されている状態で作業をスタートできます。

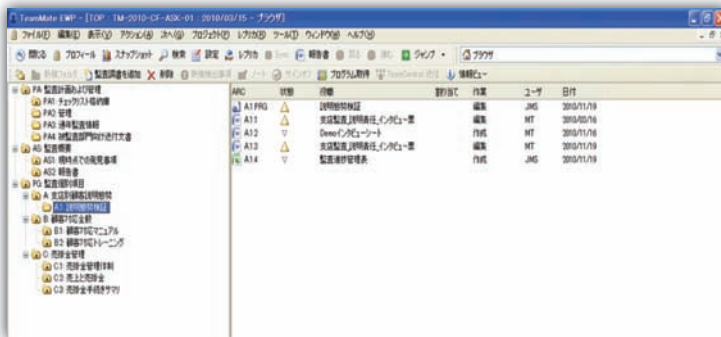
### 無駄の無い監査業務の実現

TeamMate EWP の個別監査業務のプロジェクトユーザーに定義された形式を保持できます。画面の見出しやプルダウンメニューなどを貴社および組織の用語で設定された状態が毎回再現できます。

また、ライブラリに含まれた監査手順書、計画チェックリストや計画書、連絡文書、リスクマトリックスなどの文書は、自動的に新規プロジェクトファイルに挿入されます。

貴社および組織に合ったテンプレートを作成することで、ベストプラクティス要素が新規プロジェクトに確実に継承され、監査調書の構成を標準化することができます。テンプレートは、見た目や雰囲気は統一するという事に留まらず、監査人が貴社および組織の監査部門が組織的な要件を遵守して作業できる基盤となります。この標準化された基盤上での作業することが教育となり、新しいユーザへのトレーニング時間は最小限で済みます。こうして、監査業務に慣れるまでの時間を短縮し、個別監査業務の調書作成作業をすぐに軌道に乗せることができます。

新規の個別監査業務プロジェクトを作成する際に利用されるテンプレートはあらかじめ個別監査業務のパターン毎に作成して蓄積しておくことができます。例えば、定期的実施されるプロジェクトは、詳細な監査手順書をテンプレート化しておくことで便利。また、新規で作成した個別監査業務プロジェクトからテンプレートを簡単に作ることができます。



監査テンプレートの活用によって標準化された状態で作業を開始できます。

### 監査人の知識を大きく向上させる TeamStores

利用したい個別監査業務の手続や調書があれば TeamStores に格納すると良いでしょう。ほんの数秒で操作は完了します。

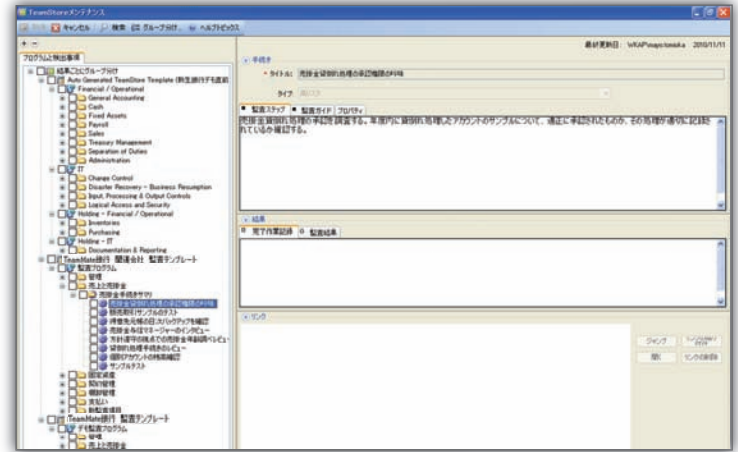
重要だと思われる発見事項も将来の再利用のために TeamStores に格納しましょう。もし同様な発見事項が発生した場合、以前提案した推奨改善事項もセットで取り出し、再利用することができます。これは作業時間の短縮や改善事項の提案の標準化に大きく貢献できます。

TeamMate EWP から個別監査業務、調書や発見事項を TeamStores に格納する作業も管理できます。TeamStores の「キャビネット」と呼ばれる格納庫のシステムにはアクセス制限を設定できるため、あすレバルのエキスパートだけが格納すべきデータを選んで保存できる管理体制も実現できます。

リスクライブラリーと呼ばれるリスク評価のため定義されたビジネス目的、リスク、コントロールも TeamStores 内で一括管理します。

このリスク評価に関するデータをリスク評価のフェーズでは TeamRisk からアクセスして利用します。また、監査のフェーズでも TeamMate EWP から監査中にリスクやコントロールを発見した場合「リスクとコントロール」ボタンをクリックして個別監査業務に取得することができます。

リスク、コントロール、手続は TeamStores 内でリンクを設定することができるため、監査業務に取得する際に関連性を明確に確認することが可能となります。



TeamStores は知識共有の場として活用できます。格納したテンプレートは同一画面で内容を確認しながら取捨選択することが可能で、「取り出しやすい」画面設計になっています。



ビジネス目的、リスク、コントロールを格納するリスクライブラリー

# TeamAdmin

TeamAdmin は TeamMate の全モジュールの各種設定、構成、ポリシー規定を一元管理できる環境を提供します。TeamAdmin はカテゴリ項目や、用語、担当者、電子メール通知設定、セキュリティ、規定といった詳細事項を管理しています。また、担当者リストや既存のリスク、コントロールや監査対象組織データ、外部の発見事項データ といったソースのインポート及びエクスポートもこの管理ツールから可能です。

担当者管理機能は TeamMate 管理者が行うアクセス権限や属性の変更作業や確認を容易にします。3種類のシステム上の権限は TeamMate 上の権限と相互に対応しています。

- TeamMate 全般にわたるシステム管理者権限
- 監査人権限
- 被監査部門の TeamCentral にアクセスできる担当者と TeamRisk の自己評価アンケートに参加できる評価担当者



プロジェクト、リソースが一元管理できます。

# CCH® TeamMate — System Requirements

## TeamMateのシステム要件

世界で最も利用されている強力な監査管理システムが監査プロセスを改革します。

### デスクトップコンピューター

#### ハードウェア要件

- プロセッサ速度：1.6 GHz Pentium®4 以上
- メモリ：1 GB RAM 以上
- ハードドライブ：2 GB 以上（20 GB 以上を推奨）

#### ソフトウェア要件

- Microsoft® Windows® XP SP3 and Vista® SP2 Windows 7 R9.0.2 から（2010年5月）
  - ・ 32 bit および 64 bit の環境に対応しています。
  - ・ MS Windows Server 2003 SP2/R2 SP2 と 2008 SP2 にも対応しています。
- Microsoft Office XP, 2003, 2007 2007 SP2 R9.0.2 から（2010年5月） 2010（32bit上でのみ動作確認）R9.1 から（2010年9月）
- オプション TWAIN compliant scanner
- .NET Framework 3.5 SP1
- MDAC 2.8.1（事前にインストールされていない場合は、スイートのインストール時にインストールされます。）

#### データベース要件

- Microsoft SQL Server®, Oracle

#### Web ブラウザ要件

- Internet Explorer7
- Internet Explorer 8 with 9.0.2（2010年5月）

### データベース サーバー

データベースサーバーは TeamMateWeb アプリケーションに必須のものであり、デスクトップアプリケーションのために推奨されています。集中型データベースを使用している場合、アプリケーションは互いに情報を交換することができ、レポート能力が強化されます。

データベースサーバーの仕様は必要性和ユーザー数によって変化します。

#### 対応しているデータベース

- Microsoft SQL Server 2005 SP1/ SP2/SP3, Microsoft SQL Server 2008 SP1/SP2, MS SQL Express, 2005 and 2008, (Oracle はこちらをご相談下さい。)
- 5 ユーザーなど、ごくされることを小規模のご利用以外はデータベースと Web サーバーを異なるマシン上で運用されることをおすすめいたします。

#### サーバー要件

- Windows Server® 2003/2008 .
- インストールされるデータベースは、MS SQL Server または Oracle でおおよそ 20MB です。見込み増加量は、使用される TeamMate スイートのモジュール、各監査に添付されるファイル数、監査調書がデータベース内外のどちらに保存されるのか、スキヤンされる画像のサイズ/品質によって大きく異なります。ただし、一般的な実装では、1つのプロジェクトにつき 25 ~ 50MB の間です。

### Web Server

TeamCentral、TeamSchedule Web、TeamMate TEC および TeamRisk Web には、Web サーバーが必要です。

- アプリケーションを Web サーバーにインストールすると、350 MB 程度のディスク容量を占有します。
- Microsoft 社の Internet Information Systems (IIS) 6 もしくは 7 が必要です。

#### サーバー要件

- Windows Server 2003 SP2/R2
- Windows Server 2008 SP1/SP2.
- Windows Server 2008 R2 R9.1.1 から（2010年12月）
- 以下のアイテムが、Web サーバー上で必須となります。
- MDAC 2.8.1（事前にインストールされていない場合は、スイートのインストール時にインストールされます）
- Windows Installer 3.0 以降
- .NET Framework 3.5 SP1

	小規模	中規模 (小規模でも DB サーバーと Web サーバーを同一マシンで運用する場合はこちらです)	大規模
想定ユーザー数	1 - 10 名	10 - 250 名	250 名以上
年間監査件数		500 件未満	500 件以上
プロセッサ	1.6 GHz Xeon または同等のもの	2 x 3.0 GHz Xeon または同等のもの	4 x 3.0 GHz Xeon または同等のもの
CPU	ピーク時 50% 未満	ピーク時 50% 未満	ピーク時 70% 未満
メモリ	2-4 GB	2-4 GB	8 GB
ハードドライブ	10 GB 以上	25 GB 以上	50 GB 以上
サーバー	TeamMate 専用サーバーでなくても可能	ご相談下さい	TeamMate 専用サーバー

データベースサーバー

	小規模	中規模 (小規模でも DB サーバーと Web サーバーを同一マシンで運用する場合はこちらです)	大規模
想定ユーザー	1 - 10 名	10 - 250 名	250 名以上
年間監査件		500 件未満	500 件以上
プロセッサ	2.0 GHz Xeon または同等のもの	2 x 3.0 GHz Xeon または同等のもの	4 x 3.0 GHz Xeon または同等のもの
CPU	ピーク時 20% 未満	ピーク時 20% 未満	ピーク時 50% 未満
メモリ	2 GB	4 GB	4 GB
ハードドライブ	2 GB 以上	2 GB 以上	2 GB 以上
サーバー	TeamMate 専用サーバーでなくても可能	ご相談下さい	TeamMate 専用サーバー

Web サーバー



**CCH TeamMateのお問合せ先**

電話： (03) 6234-3988  
FAX： (03) 6234-3989  
107-0052  
東京都港区赤坂4-2-19  
赤坂シヤスタースト1F  
CCH TeamMate -Japan

日本語ホームページ：[www.arclogics.com/japan](http://www.arclogics.com/japan)